

## 長野県ことばの会の活動記録

著者	ことばの会事務局
出版者	長野県ことばの会
引用	ことばの研究 10: 63(1999)
発行年月日	1999-10-10
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10091/00022427">http://hdl.handle.net/10091/00022427</a>

第9号以降の長野県ことばの会の活動は次の通りです。

### 第38回研究発表会

平成10年2月14日(土) 松本市あがたの森文化会館第二音楽室

1. 在日年数と日本語語彙習得  
(朱伊君: 信州大学大学院人文科学研究科)
2. 韓国人朝鮮語母語話者と台湾人中国語母語話者の日本語における誤用分析—文法を中心に—  
(坂本はるえ: フェリス女学院大学大学院  
呉枝美: 輔仁大学講師)
3. 会話における文の接続の分類  
(市岡香代: 信州大学大学院人文科学研究科)
4. 長野オリンピックと国際化  
(沢木幹栄: 信州大学人文学部教授)

### 第39回研究発表会

平成10年10月25日(日) 松本市中央図書館視聴覚室

1. 対話における「ハイ」のはたらき  
(青柳にし紀: 信州大学大学院人文科学研究科)
2. 小学校国語教科書における文型調査の試み  
(松崎史周: 信州大学大学院教育科学研究科)
3. しほといふ字はいづれにへんにか侍るらむ—辞書生活史から—  
(山田健三: 信州大学人文学部助教授)

### 第40回研究発表会

平成11年2月13日(土) 松本市中央図書館視聴覚室

1. 日本語の長音はいつも長いか  
(竹内有紀: 信州大学人文学部)
2. あいづちの観点から見た日本語の談話構造  
(陳姿青: 信州大学大学院人文科学研究科)
3. 日本統治時代における「台湾人」の日本語使用—言語生活調査を通じて—  
(合津美穂: 信州大学大学院人文科学研究科)
4. 類義語分析における例文作成ストラテジー—日本語母語話者に見られる特徴と問題点—  
(阪口和寛: 信州大学人文学部講師)